DJ-CH20/27 セットモードの拡張について

DJ-CH20/27 特定小電力トランシーバーには、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。通常の設定項目にしなければばならないほどには頻繁に使われない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるので、これらは下記のボタン操作にてセットモードの拡張をおこなった後に設定画面に現れるようになっており、敢えて取扱い説明書には記載しておりません。
これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めた全てを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。

[拡張後に使えるセットモード項目]

1.スケルチレベル「Sq」

設定値　1～5　（初期値 3）
FM 電波特有の、通話が無いときに聞こえるザーというホワイトノイズを消す「スケルチレベル」の調整。工場設定で標準的なレベルに調整してありますが、ノイズが強い環境などで、通話していない時でもスケルチが開きカサカサと音が出る場合にレベルを上げると静かな待ち受けが可能になりますが、弱い通信信号も消してしまうため通話距離が短くなるように感じられることがあります。逆にノイズが低い環境では、レベルを低めに設定することで弱めの信号でも受信しやすくなる場合があります。レベルをゼロにすると、常にザーというノイズが聞こえるようになります。

2.キーロック設定に入るまでのボタンを押す時間「Lt」

設定値　1～3 秒　（初期値 2 秒）
通常は指定のボタンを 2 秒押すとキーロックが設定できますが、このタイミングを 1～3 秒の間で変更できます。

3.バッテリーセーブ「bS」

設定値　ON/OFF　（初期値 ON）
電池消費を最小にするバッテリーセーブ機能は、通話の始めの一部が途切れる原因の一つになる場合があります。これを少しでも軽減するためにここでバッテリーセーブ機能を解除できますが、電池の消耗が早くなるためご注意ください。

4.電池電圧表示「*.」**

何かを変えられる項目ではありません。拡張後このメニューに合わせると、お使いの電池の電圧を表示するので電池残量チェックとしてお使いになれます。テスターのような精度ではありませんので目安とお考えください。

5. マイクゲイン調整「mG」

設定値　1～8　(初期値 4)

マイクから口元までの距離やオプションマイクのゲインなどによって無線機に入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする)、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）等の場合に調整できるようになっています。お使いになるオプションマイクによってもレベル調整が必要になる場合があります。

6. デュアルオペレーション動作再開時間設定「dt」

設定値　1～5 秒　(初期値 5 秒)

デュアルオペレーション機能動作中、通話が終了してから交互受信が再開するまでの時間を変更することができます。

7. チャンネル表示切り替え「CH」　・・・　単信 20 チャンネルのみ

設定値　AL/no　(初期値 AL)

他社トランシーバーと同じチャンネル表示にすることができます。

AL(アルインコ表示)：L01～L09, b01～b11

no(チャンネル表示)：01～20

[セットモード拡張の方法]

1. キーロックする。(2 種類キーロックのうち、どちらの方法でも可)
2. 【GROUP】キーを５回連続で押す。4 秒以内に 5 回押さないと有効になりません。
　→キー操作が有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。
3. 次にセットモードに入ると拡張メニューが追加されています。

※設定値を保存して拡張メニューを隠すには、上記 1～3 の操作を繰り返します。

※チャンネルや通常のセットモードで設定したパラメータも含め全てを工場出荷状態まで初期化するには、一度電源を切り、VOL【▲】、【FUNC】、CH【▲】3 つのキーを同時に押しながら電源を入れます。

※取扱説明書に記載の簡易リセットでは、拡張セットモードで設定した値は初期化されません。通常セットモード、チャンネルは初期値に戻ります。